



熊切 和人 議員《自民党・いさま》

梨の木坂付近の環境整備について

市道1号線の梨の木坂は、両側が緑地保全指定をされており、緑に覆われ、横穴墓群が存在しています。梨の木坂の上から右側は、土砂崩壊対策として、矢板で土留めがされていますが、暗い印象があります。

座間の1号線である市道1号線にふさわしくなるように、矢板がカラー化されることを願います。例えば、矢板に「ざまりん」のイラストやヒマワリの絵を描くことや、近くにある入谷小学校の児童に絵を描いてもらうことなど、歩行者の癒やしになる工夫ができると思いますが、見解を伺います。

都市部長 既存の土留め工である矢板のカラー化やイラスト書きについては、描画された絵等により車両運転者への誤認識を与える可能性が想定されます。また、交通管理者からも落書きを助長するおそれがあるとの指摘を受けていますので、現状のまま維持管理を行っていきたく考えています。

また、暗いイメージの解消については、道路に隣接して、市指定重要文化財である梨の木坂横穴墓群が存在していることから、歴史文化の環境保全との調整を図りながら、研究を行っていきたく考えています。



内藤 幸男 議員《自民党・いさま》

地域の特性を考慮した地域別計画の検討を！

総合計画に示されている基本構想は、以前は地方自治法により市区町村に対して、策定が義務づけられていました。しかし、地方分権改革の取り組みの中で、国による地方への義務づけや、枠づけの見直しの一環として、地方自治法の一部を改正する法律が平成23年8月1日から施行され、基本構想の策定を義務づけていた規定が廃止されました。

もありません。今後、第五次座間市総合計画について考えていく中で、協働のまちづくりを進めている本市だからこそ、地域の個性や特性を踏まえた、地区ごとに単独で取り組む課題や取り組みをまとめた地域別計画が必要であると考えるが、当局の見解をお聞かせください。

これは、地方分権の一環として、市区町村の自主性の尊重と創意工夫の発揮を期待する観点から措置されたものであり、従来の総合計画とは根本的に異なる方針や計画により、行政運営を行っている自治体

企画財政部長 平成27年度に作成した座間市人口ビジョンの地区別将来人口の推計において、地域により異なる特徴が見られる結果となりましたので、これらの結果を考慮した地域別計画についても研究していきたいと考えています。



伊藤 多華 議員《公明党》

高齢者見守りシステムの構築で地域生活の安心を！

4人に1人が高齢者の時代に突入し、日本は世界一の超高齢社会となりました。多くの人ではできる限り住み慣れた地域や自宅で暮らし続けることを望んでいます。医療や介護などの公的サービスだけでは地域生活を支えることは困難です。今後はさまざまなサービスの組み合わせや、地域での支え合いにより、複層的に支えていく体制の構築を一層進めていく必要があります。

健康部長 安心した積極的な外出による社会参加が介護予防の推進となることや、地域の方々の理解が深まることで地域包括支援センターの機能強化にもつながるものと考えています。キーホルダーの導入については、現在、地域包括ケア会議及び在宅医療推進会議で、有用性についての検討をしています。地域ケア会議等を通じて、地域包括支援センター等と協議して事業の実施に向けた検討を進めていきます。

就労意欲や就労経験が乏しい方を支援する取り組みとして、被保護者就労準備支援事業が始まりました。さまざまな理由により就労に結びつかない方たちにとっては意義のある事業だと評価しますが、将来的な就労準備として取り組むことについての見解を伺います。

福祉部長 就労準備支援事業は、開始して間もないため、まずは生活困窮者自立支援事業のノウハウを活用し、個別にボランティア活動につなげることを考えています。また、日常生活や社会生活に課題のある被保護者に対しては、個々のレベルに合った支援が必要であり、ボランティア活動への参加も支援の一つと考えて取り組んでいきます。



安田 早苗 議員《公明党》

生活保護受給者の自立支援について

自立への一歩を踏み出すための支援策として、就労ボランティア体験事業を被保護者就労準備支援事業に位置づけ、将来的な就労準備として取り組むことについての見解を伺います。

福祉部長 就労準備支援事業は、開始して間もないため、まずは生活困窮者自立支援事業のノウハウを活用し、個別にボランティア活動につなげることを考えています。また、日常生活や社会生活に課題のある被保護者に対しては、個々のレベルに合った支援が必要であり、ボランティア活動への参加も支援の一つと考えて取り組んでいきます。

就労意欲や就労経験が乏しい方を支援する取り組みとして、被保護者就労準備支援事業が始まりました。さまざまな理由により就労に結びつかない方たちにとっては意義のある事業だと評価しますが、将来的な就労準備として取り組むことについての見解を伺います。

福祉部長 就労準備支援事業は、開始して間もないため、まずは生活困窮者自立支援事業のノウハウを活用し、個別にボランティア活動につなげることを考えています。また、日常生活や社会生活に課題のある被保護者に対しては、個々のレベルに合った支援が必要であり、ボランティア活動への参加も支援の一つと考えて取り組んでいきます。



沖本 浩一 議員《さま大志会》

災害時協定締結団体との連携強化について問う

総務省消防庁は、平成30年1月19日に「消防団員の確保等に向けた重点取組事項について」の通知を发出し、その中で大規模災害に限定した機能別団員である大規模災害団員の導入を求めています。しかし、こうした大規模災害団員の確保よりも、災害時に資機材や復旧要員等の応援が得られるよう協定を締結している団体との平時の連携をさらに強化し、有事の機能性を高めることが本市としてのあるべき姿だと考えます。本市は昨年7月に災害時協定締結者意見交換会を開催し、協定を締結している団体との間で防災事業報告や意見交換を行いました。

市長室長 災害時の協定を締結している団体には市総合防災訓練への参加、市防災会議へ出席していただくなど、平時から連携を図り、情報交換を実施しています。今後は協定書の見直しや再締結を考慮しており、見直しについては、協定内容が現状とのそごが大きく見直しの必要性がある場合、協定内容を進化、拡張することに双方が合意した場合、緊急性のある場合などを考慮して検討していきたく考えています。

キャンパス座間陸上自衛隊座間駐屯地の改編について、自衛隊の部隊配置はどうなったのか、全容の説明を求めます。国との旧覚書第1条では自衛隊の人員と区域が制限されていました。この条項が削除されたことについて、昨年改定された新覚書ではこの条項が削除されてしまいました。とはいえ、南関東防衛局は旧覚書第1条の内容を踏まえて適切に対処するとしていましたので、具体的に示してください。また、新覚書では特に著しい部隊改編等があるときには事前に座間市の理解を得よう協議するとありますが、協議は行われたのか、説明を求めます。本市の総合計画では、キャン

ンパス座間について、「まちづくりの上での阻害要因」と記述されていますが、市長の認識は変わらないのか、見解を求めます。市長 これまで南関東防衛局から情報提供されたこと以上の詳細な情報は把握していません。自衛隊部隊配置の全容等は、今後可能な範囲で情報提供を引き続き求めていきます。また、部隊改編に伴う協議については、改めて行うものではないと考えています。キャンパス座間について、狭い市域に広大な基地が存在しており、必要のないところについては当然返還を求めていくことに変わりありません。



沖永 明久 議員《会派に属さない議員》

基地はまちづくりの上での阻害要因 市長の認識は変わらないのか？

キャンパス座間陸上自衛隊座間駐屯地の改編について、自衛隊の部隊配置はどうなったのか、全容の説明を求めます。国との旧覚書第1条では自衛隊の人員と区域が制限されていました。この条項が削除されたことについて、昨年改定された新覚書ではこの条項が削除されてしまいました。とはいえ、南関東防衛局は旧覚書第1条の内容を踏まえて適切に対処するとしていましたので、具体的に示してください。また、新覚書では特に著しい部隊改編等があるときには事前に座間市の理解を得よう協議するとありますが、協議は行われたのか、説明を求めます。本市の総合計画では、キャン

ンパス座間について、「まちづくりの上での阻害要因」と記述されていますが、市長の認識は変わらないのか、見解を求めます。市長 これまで南関東防衛局から情報提供されたこと以上の詳細な情報は把握していません。自衛隊部隊配置の全容等は、今後可能な範囲で情報提供を引き続き求めていきます。また、部隊改編に伴う協議については、改めて行うものではないと考えています。キャンパス座間について、狭い市域に広大な基地が存在しており、必要のないところについては当然返還を求めていくことに変わりありません。

キャンパス座間陸上自衛隊座間駐屯地の改編について、自衛隊の部隊配置はどうなったのか、全容の説明を求めます。国との旧覚書第1条では自衛隊の人員と区域が制限されていました。この条項が削除されたことについて、昨年改定された新覚書ではこの条項が削除されてしまいました。とはいえ、南関東防衛局は旧覚書第1条の内容を踏まえて適切に対処するとしていましたので、具体的に示してください。また、新覚書では特に著しい部隊改編等があるときには事前に座間市の理解を得よう協議するとありますが、協議は行われたのか、説明を求めます。本市の総合計画では、キャン

ンパス座間について、「まちづくりの上での阻害要因」と記述されていますが、市長の認識は変わらないのか、見解を求めます。市長 これまで南関東防衛局から情報提供されたこと以上の詳細な情報は把握していません。自衛隊部隊配置の全容等は、今後可能な範囲で情報提供を引き続き求めていきます。また、部隊改編に伴う協議については、改めて行うものではないと考えています。キャンパス座間について、狭い市域に広大な基地が存在しており、必要のないところについては当然返還を求めていくことに変わりありません。

本会議の概要

▽6月1日 開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、議案上程・提案説明・総括質疑・委員会付託、請願及び陳情上程・委員会付託、報告上程・質疑

▽6月8日 一般質問
▽6月11日 一般質問
▽6月12日 一般質問
▽6月25日 委員会審査報告
・質疑・討論・採決、継続審査案件上程、議員派遣、議員提出議案上程・提案説明・質疑・委員会付託・討論、省略
・採決、閉会

なお、質疑、総括質疑、討論は、次の議員が行いました。
議案第40号、第45号に対する質疑(6月1日)
守谷浩一(日本共産党)、沖永明久(会派に属さない議員)
総括質疑(6月1日)
高波貴志(自民党・いさま)、守谷浩一(日本共産党)、松橋淳郎(さま明進会)、加藤陽子(会派に属さない議員)、沖永明久(会派に属さない議員)
討論(6月25日)
安海のぞみ(会派に属さない議員)、伊藤多華(公明党)、沖永明久(会派に属さない議員)、松橋淳郎(さま明進会)、加藤陽子(会派に属さない議員)、内藤幸男(自民党・いさま)、星野久美子(日本共産党)